

1) わが国の慢性透析療法の要約

日本透析医学会は1968年より年に一回全国の透析療法の施設を対象に統計調査を行っています。2003年末の統計調査は全国の3,750施設を対象に実施され、3,717施設(99%)から回答が寄せられました。これらの調査結果を集計した2003年末のわが国の透析療法の現況を報告します。今回の調査においては、新規項目として、血清カルシウム、リン濃度、副甲状腺ホルモン、脂質代謝、抗凝固薬などについて検討しました。

また、今回より死亡原因分類を従来の旧コードを止め、国際的な死亡分類に変更しました。この結果、従来の死因分類と異なる部分があることを了解して頂きたいです。今後の調査記載において誤りの無いように配慮する必要があります。

(1) わが国の慢性透析療法の要約 (図表1)

施設数		3,717施設	(105施設増 2.9%増)
設備	パーシェントステーション	92,710台	(3,640台増 4.1%増)
能力	同時透析	91,925人	(3,454人増 3.9%増)
	最大収容能力	312,004人	(23,064人増 8.0%増)

慢性透析患者	237,710人	(8,172人増)
--------	----------	-----------

※慢性透析患者の総数は、シート1患者総数欄の合計であり、治療方法別患者数の合計とは必ずしも一致しない。

昼間	187,533人	(78.9%)
夜間	41,202人	(17.3%)
家庭血液	110人	(0.0%)
CAPD	8,479人	(3.6%)
IPD	382人	(0.2%)

導入患者数	33,966人	(256人増 0.8%増)
死亡患者数	21,672人	(1,058人増 5.1%増)

	男	女	不詳	計
5年未満透析患者数	73,042	44,064	10	117,116 (51.1%)
5年以上10年未満透析患者数	33,615	22,547	7	56,169 (24.5%)
10年以上15年未満透析患者数	15,295	11,412	3	26,710 (11.6%)
15年以上20年未満透析患者数	7,966	6,496	1	14,463 (6.3%)
20年以上25年未満透析患者数	5,010	3,982	0	8,992 (3.9%)
25年以上透析患者数	3,533	2,462	1	5,996 (2.6%)

※透析歴別患者数は調査シートⅡ～Ⅳの記入から算出

人口100万対比	1,862.7人 (61.5人増)
----------	-------------------

最長透析歴	37年6ヵ月
-------	--------

解説

わが国の慢性透析療法の現況

今回の調査により回答施設数は3,717施設となり前年度より105施設(2.9%)増加し、設備・能力もそれに伴って増加しています。患者数の増加に対処するための必然の結果であり、なお増加傾向が認められます。

パーシェントステーションは92,710台であり、これは3,640台(4.1%)増しとなりました。この結果、同時透析は91,925人となり、3,454人(3.9%)増しとなり、最大収容能力312,004人(23,064人、8.0%)増加となりました。